



なんじゃもんじゃ

Vol. 32

Municipal Ena Hospital Public Relations Magazine

INDEX

新年のご挨拶	…1
手術室について	…2
胎児スクリーニング	…3
看護師募集	…3
臨時介護職員募集	…3
外来担当表	…4
クイズ	…4
編集後記	…4

当院は平成22年より
(財)日本医療機能評価
機構の認定を受けてお
ります。

地域包括ケアの構築

—地域を活性化し、豊かさを求めて生き甲斐のある、楽しき幸福大国の実現を目指す!!—

新年明けましておめでとうございます。市立恵那病院も開院して11年目を迎えました。開院前の懇話会で提案された整備計画は、着実に実行されて来ました。そして現在、新たなる目標を達成するための中核となる新病院建設に向けて土地の造成工事が始まり、26年度後半には基礎工事が始まる予定です。

さて、年々増え続ける医療費、65歳以上の高齢者と称される方々(小生、高齢者とは75歳上と思っているのでこのような表現をしました)の医療費が突出して多くなっています。税と社会保障制度を考える国民会議は、高齢者の方々にも応分の負担をと提言しました。今後、議論を積み上げて皆が納得する制度が作られて行くでしょう。豊かな国を目指して明治維新以降、様々な体験をして来た我が国は、今後将来、どのような国になって行くのか、それは軍事大国でもない、経済大国でもない、それこそ年老いても生き甲斐を持って楽しく働いて生活ができる幸せ大国を目指さず、それが目指すべき姿でしょう。そのためには「長生きを喜べる社会を構築」しなければなりません。具体的に言いますと、高齢者の生活支援を如何にするか、医療介護の面では、多職種連携を推進して、医療と介護がシームレスに運営される地域包括ケアが充実することだと思います。昨年の挨拶で書きましたが、我々の今までの活動を紹介して今後の地域のあるべき姿を想像してみたいと思います。

我々は、認知症の方々の諸問題を解決すべく多職種による集まり、「認知症連携推進連絡の会」を立ち上げ活動をしてきました。物忘れ外来を始めたことから病院での家族会の立ち上げ、他の組織の家族会との交流会の実施、それが発展して認知症カフェを開催しました(昨年10月23日)。一方、医療・介護を提供する側の活動としては、事例検討会の開催を実施、その質を上げるために Busan の Mind Map手法を取り入れた事例検討会の実践、「見える事例検討会」を行ってきました。この活動の方向性を決めたのは、1泊2日で行った合宿でした。皆、手弁当で集まり、色々なことを話し合いました。その中にこの認知症カフェの原型となった、「喫茶店などで患者とそごご家族の方々が集まり、情報交換ができたり気安く支援をお願いしたりできる雰囲気を持った場所作り

ができるの良いね」、という夢も語り合いました。それが実現したのです。皆、今、わくわくしています。今後、さらに合宿で話し合われた活動目標を実現して行く予定ですが、現在、市民レベルで頑張っておられる方々の活動と互いに繋がり、自分たちが住む地域作りに発展して行く必要があります。おそらくそれは、働ける高齢の方々が主役となると思います。生きていてよかった、長生きを喜べる社会の構築に繋がると思います。新しい価値感が生まれ、多くの新しい仕事生まれます。新しい活動が生まれます。公的な組織と市民の活動が合体するような動きが今後は必要です。

恵那病院自体も、当院の理念にもありますように、思いやりを持って患者中心の医療を展開する、これをさらに質の高い物にできるように頑張りたいです。私が思うに「中小病院といくつかの診療所+いくつかの介護事業所」というプライマリ・ケアモデルが地域医療を展開して行くには合理的なのです。総合診療医・家庭医の連携で24時間対応を確保します。現在、市立恵那病院と山岡診療所は、電子カルテを導入して一体化しようとしています。これを他の診療所にも拡大して行きたいと思っています。24時間対応しているのが中小とはいえず病院なので、ある程度の重症時にはそのまま入院もできるので、医療の守備範囲でみても中小病院と診療所連携システムでできることは極めて広く、人工呼吸、緊急内視鏡止血、骨折処置くらいは日常的に行っているわけです。さらには一部専門的ながんの治療などを行う、こういった機能を有する連合群が、地域医療を展開する理想型だとして全国に情報発信して行きたいです。介護事業所が併設、あるいはそれと連携しているので、生活支援もできます。地域包括医療・ケアは高齢者の生活支援でもあります。このプライマリ・ケアモデルの存在は地域にとって大きなものです。地域ニーズに応えようとする総合診療医・家庭医のネットワーク作り(地域医療医総合医作り)をする、さらに多職種が連携することで、これが町づくりになり、地域住民が安心して暮らせる地域作りになって行きます。このような決意で頑張っていますので、本年も何とぞご支援、ご理解よろしくをお願いします。

(管理者 細江雅彦)



手術室について

当院の手術室では、外科・整形外科・眼科、内科の手術を行っています。医師は午前中に外来診療をしているので、午後から手術が開始されます。特に全身麻酔が必要な手術は、毎週火曜・水曜日に麻酔科医師(非常勤)の管理下で実施しています。また、近年社会的ニーズにより消化器外科では内視鏡下手術(開腹をしないで、内視鏡を入れる穴をお腹等に数カ所開けて、その内視鏡から映し出されるモニターを見ながら実施する手術)が増加しています。特に当院では腹腔鏡下の胆嚢摘出術が増加しています。



手術室は外来診療棟の2階フロアに位置し、2部屋の手術室を使用して、月曜から金曜日の定期手術及び土曜日、日曜日等の緊急手術にも対応しています。

私たちは、患者さまやご家族の方の不安を少しでも和らげ、納得して手術を受けて頂けるように術前・術中・術後看護に尽力しています。全身麻酔及び腰椎麻酔下で手術を受けられる患者さまへは、ほぼ全例に術前

訪問、術後評価訪問を行います。訪問を通じて患者さまから得られた情報等を基にチームカンファレンスを行い、周手術期(入院、麻酔、手術、回復といった、患者の術中だけでなく前後の期間を含めた一連の期間)の患者さまに対して安全・安心で、患者さまに寄り添った看護が提供出来るように取り組んでいます。



また、手術室では、ME(臨床工学技士)が、手術器機の点検整備などすることで安全な手術が提供出来る体制となっています。



(手術運営委員会)



胎児スクリーニング



平成 26 年 1 月より

胎児スクリーニング

長良医療センター周産期部長
川緒市郎先生が、毎月 1 回来院し、
超音波検査で専門的にあなたのお腹の
赤ちゃんの発育状況を確認します。
対象は、**妊娠 20～30 週頃**の妊婦さん
です。
1 回 15 分程度 / 料金：¥6,000(税別)



スクリーニングは**要予約**です。ご予約・お問い合わせは、下記へご連絡ください。
TEL：0573-26-2121 市立恵那病院婦人科 助産師 森 まで



看護師募集

職 種：看護師（若干名）
休 日：日曜日、土曜日、祝日を含めて月7.5日以上
有給休暇：最大年間20日（採用月により変動します）
特別休暇：年末年始、リフレッシュ休暇、産前産後休暇、忌引等
※臨時職員（日勤勤務者）看護師も募集しています。下記までご連絡下さい。
市立恵那病院（担当 清原・渡部）☎0573-26-2121



臨時介護職員募集（通所リハビリテーションセンターほほ恵み）

雇用形態：臨時職員
職 種：介護職員（介護福祉士資格又はヘルパー2級があれば尚可）
休 日：第3以外の土曜日、日曜、祝祭日
有給休暇、特別休暇（リフレッシュ休暇など）あり
備 考：勤務成績等により正職員の登用もあり
市立恵那病院（担当 渡部）☎0573-26-2121

